

～全国初！都と婚活・結婚関連団体がタッグを組んで結婚支援を推進～ 「結婚おうえんTOKYOミーティング」を開催



東京都では、「一人ひとりの多様な選択肢が叶えられる社会」の実現に向け、ライフステージを通じた切れ目ない支援を進めています。このたび、社会全体のムーブメントを高めることで、婚活・結婚に躊躇している人が1歩を踏み出す勇気を持てるよう、マッチングアプリ、結婚相談所、式場・婚礼関係等の団体が集まって議論する全国初の取組「結婚おうえんTOKYOミーティング」の第1回を6月10日（月）に開催しました。

会議に出席した小池知事は、「東京都は、希望する誰もが結婚し、子どもを産み育てられるよう、出会いから結婚、出産、子育てまで、シームレスな支援を行っています。人生はいろいろなステージがあり、そのステージごとに様々な不安があります。やはり将来への希望を持てるような社会にしていくことが何よりも重要だからこそ、シームレスな支援を進めています。その入口は、出会いや結婚です。そこをしっかりと支援していく必要があります。ぜひ皆様と一緒に知恵を出し合いながら、素敵な出会いを増やしていきたいと考えています。キックオフミーティングを皮切りに、効果的に取り組みを進めていきたいと思います」と述べました。

会議に出席した各団体の代表者からは、今回の官民連携の取組を歓迎する声が多く挙げられ、今後に向けた提案がありました（以下、発言から抜粋）。

■一般社団法人結婚・婚活応援プロジェクト 代表理事 山本竜馬氏/飯塚勇太氏

恋愛・結婚に関連した事業者が一同に会して未婚化・晩婚化という難題に対して力を合わせて取り組むことは、日本の未来に向けて極めて重要なことだと思います。特に若い世代の恋愛・結婚においては、マッチングアプリでの出会いが最も多くなっており、「IMS認証」の認知理解の促進や安心安全なマッチングアプリの選び方を啓発していくことこそが求められている取り組みだと思います。また、恋愛がしやすい環境を整えるためにも都と連携して取り組んでいきたいと考えています。

■一般社団法人日本結婚相手紹介サービス協議会 理事長 升村要氏

官民連携による未婚化解消の活動に全面的に賛同し、団体を上げて協力体制を築いていきたいと考えています。結婚相談所は信頼性と人的サポートが特徴です。成婚数増加に向け、官民連携によるPR・情報発信などで民間企業に対するイメージアップと利用促進を進めていければと思います。

■公益社団法人日本ブライダル振興協会 会長 清原當博氏

今回の取り組みについて、今までにない取り組みに期待感を持っています。結婚できる環境を整えることが重要でキーワードになります。若い世代だけでなく、親世代に対する機運醸成も重要です。式場というリソースを活用しながら、結婚式を挙げるイベントを開催していきたいと考えています。

■一般社団法人未来ウェディングJAPAN 代表理事・会長 野尻佳孝氏

恋愛と結婚に対する意欲・行動喚起が大切です。まずは若い世代に恋愛や結婚に対する憧れを伝えていく活動を進めます。また、結婚式に参列した人が恋愛、結婚、出産などのライフイベントにとってもポジティブになるというエビデンスを通じ、結婚というものに魅力を感じてもらう啓発活動も進めていきたいと考えています。

都では、民間事業者の専門的な知見やノウハウを生かし、価値観テストなどに基づき交際が成立する確率が高い相手を紹介するAIマッチングシステム事業を、今年度から本格稼働いたします。（結婚支援マッチング事業はプロモーターとして、東武トップツアーズ株式会社が受託しています。）

本会議での意見等も踏まえ、今後も都では、結婚支援マッチング事業、結婚情報の発信（結婚支援ポータルサイト「TOKYOふたりSTORY」）、結婚おうえんキャンペーンでのイベント実施など、一人ひとりの多様な選択肢に寄り添った取組を実施してまいります。

開催概要

名称：第1回「結婚おうえんTOKYOミーティング」
日時：6月10日（月）17時15分～17時45分
会場：第一本庁舎7階 大会議室
出席者：東京都知事 小池 百合子

（敬称略）

【マッチングアプリ関係】

一般社団法人 結婚・婚活応援プロジェクト 代表理事 山本 竜馬
（株式会社エウレカ代表取締役CEO）
一般社団法人 結婚・婚活応援プロジェクト 代表理事 飯塚 勇太
（株式会社タッフル取締役）

【結婚相談所関係】

一般社団法人 日本結婚相手紹介サービス協議会 理事長 升村 要
（株式会社シニアライフ代表取締役）
一般社団法人 日本結婚相手紹介サービス協議会 副理事長 吉末 育宏
（株式会社TMS代表取締役社長）

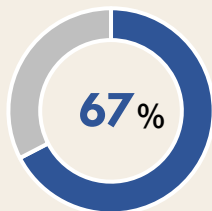
【式場・婚礼関係】

公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 会長 清原 當博
公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 常務理事 鈴木 直樹
一般社団法人 未来ウェディングJAPAN 代表理事 会長 野尻 佳孝
（株式会社TRUNK代表取締役社長）
一般社団法人 未来ウェディングJAPAN 監事 衣笠 歩
（マリッジ＆ファミリーDivision Vice President）

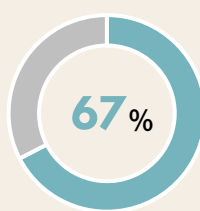
「結婚おうえんTOKYOミーティング」の方向性

【現状】結婚の意向はあるものの、その7割近くが行動に移せていない

「いずれ結婚するつもり」と
答えた人の割合



うち「理想的な人がいれば1年以内に
結婚しても良い」と答えた人の割合



うち「特に婚活をしていない」と
答えた人の割合



活動していない人
の理由

- ・不安などから婚活・結婚に踏み出せない
- ・出会う機会が無い、どう活動したらいいかわからない



活動に踏み出せない人に、結婚に向けて活動してもらうことが重要

会議の方向性

各団体と都で実施可能な策を打ち出し、社会全体の結婚気運を醸成

（令和3年度 都民の結婚等に関する実態及び意識についてのインターネット調査 n=3,267）

【問い合わせ先】

生活文化スポーツ局 都民生活部地域活動推進課 担当：大森、山室
電話：03-5320-4236 メール：S1121202@section.metro.tokyo.jp

【参考】都の婚活・結婚支援取組例

結婚支援マッチング事業

民間事業者の専門的な知見やノウハウを生かすことや各事業の連携して実施するため、プロモーター（東武トップツアーズ株式会社）が受託し、プロモーターが各事業者と契約。結婚を望む人が気軽に自分にあったメニューに参加できるよう事業を提供

【AIマッチングシステム】（タメニー株式会社）

- ・価値観テストなどに基づき交際が成立する可能性の高い相手を紹介するAIマッチングシステムを令和6年度より本格稼働
- ・独身証明書や身分証明などの提出等により、安心して利用できるマッチングシステムを提供

※他県では、行政のシステム開始により、民間サービス利用者が増えたとの声もある

AI マッチングシステム

【交流イベント】（株式会社フロンティアインターナショナル）

- ・都有施設の魅力を活用し、スポーツ体験や美術鑑賞ツアーなどの交流イベントを実施
- ・独身証明書の提出等により、安心して参加できる場を提供

交流イベント



【WEB相談】（タメニー株式会社）

- ・Webから予約、相談が可能で、出会いから結婚後の生活などの幅広い悩みや不安に経験豊富な相談員が対応

<https://www.futari-story.metro.tokyo.lg.jp/soudan/>

WEB相談

結婚情報の発信、ライフデザインシミュレーションプログラム

【TOKYOふたりSTORY】

- ・“いつか結婚したい”と考えている方へ、出会いにつながるイベントやデートスポット、結婚・婚活に役立つ情報を発信するポータルサイト

<https://www.futari-story.metro.tokyo.lg.jp/>

東京都結婚支援ポータルサイト

TOKYOふたりSTORY

【東京ライフデザインシミュレーター】

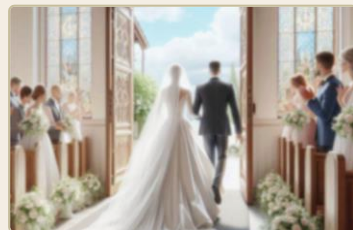
- ・結婚や子育てなどの未来を含めたライフプランを若い段階から気軽に楽しくイメージできるように、AIを活用したシミュレーターを公開中 <https://life-design.metro.tokyo.lg.jp/>

東京ライフデザイン
シミュレーター

結婚を応援する社会気運の醸成

【結婚応援イベント】

- ・トークショーや婚活に役立つセミナー等のイベントを実施
- ・都有施設でのフォトウェディングや結婚式を取り上げたイベントを実施



【結婚にまつわるエピソードの漫画化&結婚思い出ソング】

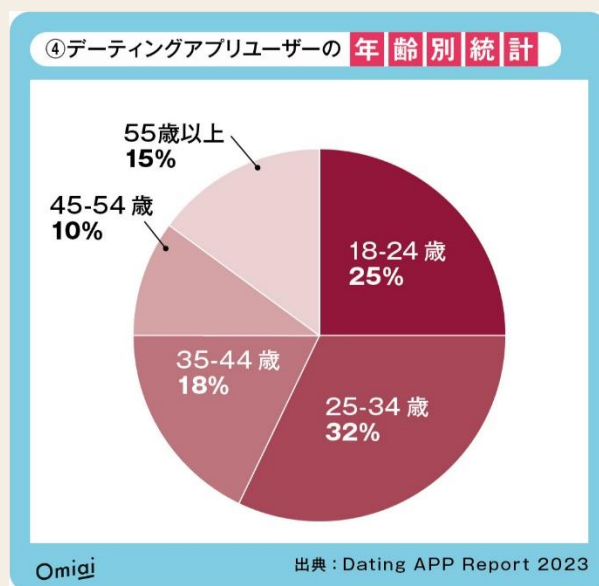
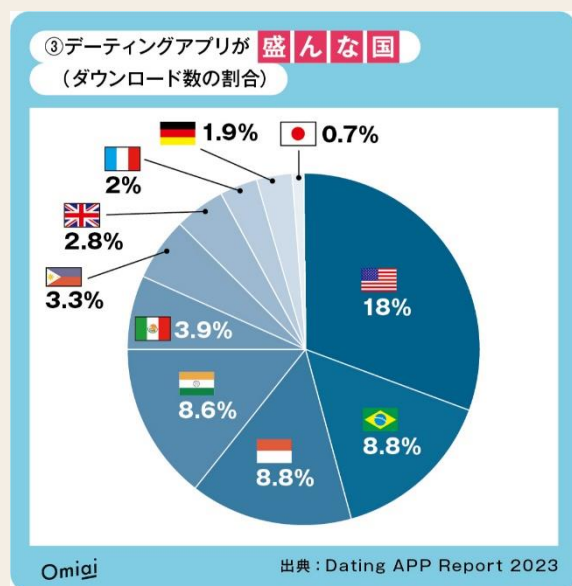
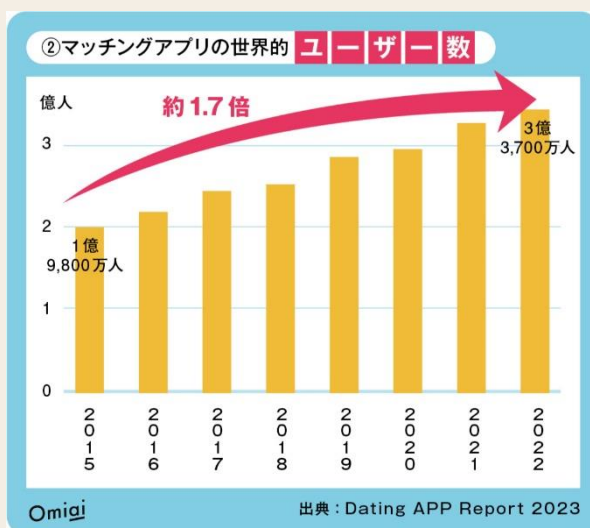
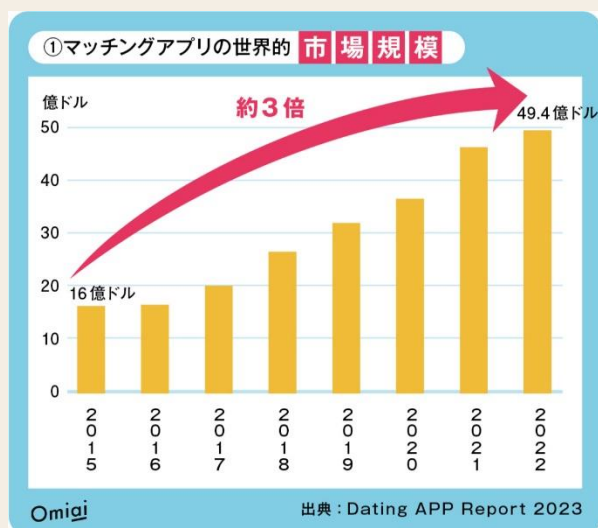
- ・結婚のポジティブなイメージの定着のため、婚活から結婚後の生活にまつわるエピソードと「結婚思い出ソング」を募集
- ・エピソードはマンガにして連載



マッチングアプリの世界市場規模

イギリスのアプリ調査会社Business of Appsのレポートによると、マッチングアプリ(欧米ではデーティングアプリと呼ぶのが一般的)の2022年の世界市場規模は49.4億ドルに達しました。2015年(16億ドル)から約3倍に膨らみ、世界中に3億3,700万人のユーザーがいると報告されています。

Business of Appsが2022年に実施した調査結果を見ると、デーティングアプリの国別ダウンロード数の割合は、発祥国のアメリカが18%で1位。2021年の調査と比較すると、前回2%だったインドネシアが8.8%とポイントを伸ばし3位に、トップ10圏外だったフィリピンが3.3%で6位にランクインするなど、東南アジア勢がダウンロード数を伸ばしています。前回8位だった日本は10位で2%から0.7%へポイントを落としています。アメリカやイギリス、ドイツやフランスなど総じて先進国の割合は減少傾向に。「Dating APP Report 2023」でも、東南アジアや南米諸国で普及が拡大していると指摘しています。



【出典】 Omiai Report light 『マッチングアプリ婚 世界事情 (前編: 世界編)』

<https://enito.co.jp/news/2023-05-11/>